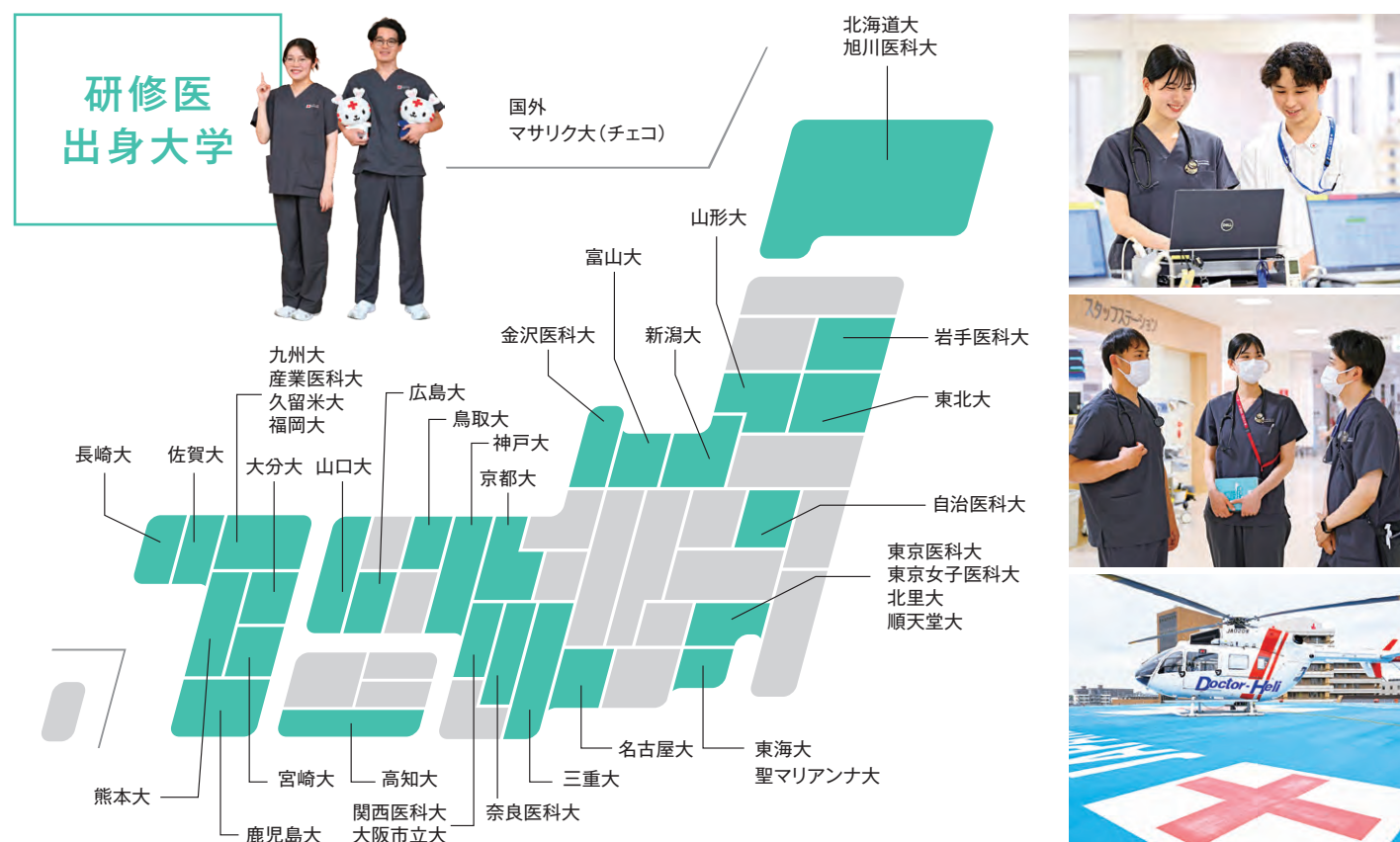




初期研修・専門研修案内

熊本赤十字病院

身分 常勤嘱託職員
給与 〈基本給〉 初期研修医：1 年次 330,000 円 2 年次 370,000 円
専攻医：1 年次（卒後 3 年次） 390,000 円
2 年次（卒後 4 年次） 450,000 円
3 年次（卒後 5 年次） 500,000 円
その他、時間外手当、賞与の支給あり
勤務時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 05 分（休憩 50 分）／
週労働時間 38 時間 45 分
休暇 完全週休 2 日制、年次有給休暇 24 日（夏季休暇 3 日含む）、
年末年始休暇、創立記念日、慶弔休暇、永年勤続休暇、
産前産後・育児休業、
介護休暇、子の看護休暇、育児短時間勤務制度等 あり
社会保険 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
宿 舎 職員宿舎あり（単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩 5 分以内）

健康管理 職員定期健康診断（年 2 回）、各種予防接種（インフルエンザ・
B 型肝炎ワクチン等）、メンタルヘルスカウンセリング制度、
病院全敷地内禁煙
福利厚生 職員食堂、院内職員用シャワールーム、仮眠室、ランドリー
完備、医局内研修医室あり／白衣（ケーシー）・スクラブ・
携帯電話の貸与制度／互助会、日赤グループ保険、
日赤医師賠償責任保険等の各種団体保険割引／院内職員用
トレーニングルーム、音楽室、リラクゼーションルーム、
院内保育園、病児病後児保育室完備／各種クラブ・サークル
活動（野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、駅伝、
フットサル、卓球、バスケットボール等）／
職員用テニスコート、職員用グラウンド
その他 NPO 法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価認定／
外部研修、学会・研究会参加の機会あり

お問合せ先

応募・処遇に関して

熊本赤十字病院 人事課 人事係
〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
TEL 096-3842-2157（人事課直通）
FAX 096-384-3939
E-mail: zinzin@kumamoto-med.jrc.or.jp

プログラム・病院見学に関して

熊本赤十字病院 教育研修推進課
〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
TEL 096-384-2190（教育研修推進課直通）
FAX 096-384-2395
E-mail: rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp

熊本赤十字病院
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
TEL.096-384-2111（代） FAX.096-384-3939
<https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/>

病院見学についてはこちら

熊本赤十字病院

検索

<https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/medical/recruit/doctor/inquiry>

YouTube



熊本赤十字病院
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

変わりゆく時代に 変わらぬ理念を胸に 「3つの満足の実現」を目指して

私たちは、変化する時代の中、挑戦を恐れずに、「人道・博愛・奉仕の実践」というゆるぎない理念を胸に、日々の医療に取り組んでまいりました。
これからも、患者、地域、職員の満足を実現するために活動が続けてまいります。

*Anyone Anything Anytime
From KUMAMOTO to the world*



病院長ごあいさつ

熊本赤十字病院長 奥本 克己

当院は昭和19年の開設以降、「人道」という赤十字の使命のもと、一貫して救急医療、国内外の災害救護活動に取り組んでまいりました。24時間365日体制であらゆる患者を受け入れ、熊本の救急医療の最後の砦となるべく努めています。
こうした環境は、初期研修医にとって重要な「幅広い疾患に対応できる基本的な診療能力の習得」に最良の場であるといえます。
私たちは、決して研修医を一人にしません。

それは、指導医だけでなく、病院全体で良医を育成しようという風土があるからです。そして、研修医を育成することが、組織の活性化につながると思っているからです。
採用基準は皆さんの「熱意」です。成長のための具材はそろっています。あとは皆さんが調理して食べるだけ。貪欲に学び続け、医師としても社会人としても成長してください。
その先で、「目の前の患者から逃げない」医師になった自分に会えるはずです。

プログラム責任者ごあいさつ

プログラム責任者 総合内科部長 加島 雅之

臨床研修必須化の目的は「目の前の患者から逃げない医師を育成する」ことです。
将来何科の医師になろうとも、まずはどんな患者も診る。そのうえで自分にできることを最大限やる。なおかつ自分の限界をしっかりと見極め、遅滞なく他科の専門医に相談する。
これが2年間の最大目標と考えます。
当院の研修医は、年間約5万人の救急患者の

初期診療から積極的にかわります。また、当院独自の必須診療科をローテーションすることで、どんな患者からも逃げない医師を育てます。
研修医は第一線で患者対応をしますが、決して一人にすることはなく、我々指導医も熱い指導を行います。
「鉄は熱いうちに打て」といいます。熱いうちに打たれたいとお考えの研修医をお待ちしています。



熊本赤十字病院4つの特徴

総合救命救急センター（北米型ER）

当院の救命救急センターは、「断らない救急」を目指し、24時間365日、1次から3次まで、年間約5万人の患者を受け入れています。
当院の研修は救命救急センターでの研修に重きを置いています。



ドクターヘリ基地病院

ドクターヘリ基地病院としてプレホスピタルを経験できます。年間の出動件数は約600件。
研修医も希望者はフライトドクターと共に搭乗を経験できます。



こども医療センター（PICU）

小児救命救急センターの指定を受け、年間約2万人を診療しています。
PICU（小児集中治療室）もあり、小児科医、小児外科医が24時間体制で診療にあたっています。



医療救援・国際救援

熊本県の基幹型災害拠点病院であり、年6回の災害訓練には研修医も参加します。また、日本赤十字社の国際医療救援拠点病院でもあり、国内外の災害等の医療救援に多くの職員を派遣してきた実績があります。



Voice
01



休日の過ごし方

同期は全国から集い、個性豊かな仲間たちはかりです。
休日は同期たちと一緒にバドミントンやゴルフなどのスポーツを楽しんだり、飲みに行ったり、充実して過ごしています。
同期旅行も計画しています！



先輩インタビュー 「目の前の患者から逃げない医師」という理念に惹かれました

初期研修医1年次

原 珠海先生（熊本大学/東京都出身）

私は、将来どの診療科に進んでも「目の前の患者から逃げない」医師になりたいと考え、当院の研修を選びました。当院には多くの診療科があり、症例もとても豊富です。小児から高齢者、軽症から重症、walk-inから救急搬送、救急対応から病棟管理まで、幅広い患者さんに1年目から主体的に関わることができます。また、どの診療科の先生方もとても教育熱心で、時にはしっかり指導してくださり、時には温かく見守ってくださいます。そんな環境だからこそ、安心して挑戦でき、自分の成長を実感しています。明るく優しい同期や先輩に囲まれて、日々助け合いながら、良い刺激を受けて研修しています。ぜひ一度見学に来てみてください！きっとこの病院の雰囲気の良さを感じてもらえると思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

研修医
の
1日

昼食時は、同期や先輩と情報交換の時間。
日本一おいしい食堂の日替わりランチは、肉・魚など複数から選ぶことができ、1食500円で食べられます。



8:30 朝礼・ 申し送り	9:00 チーム 回診	10:00 病棟対応・ 処置	12:00 昼食	13:00 教育回診・ カルテ記載	17:00 カンファ レンス	19:00 帰宅
---------------------	-------------------	----------------------	-------------	-------------------------	----------------------	-------------

ここには常に成長し続けられる 環境があると確信しています

初期研修医2年次

長尾 和馬先生（熊本大学/茨城県出身）

私は学生時代、救急現場で迅速に対応する先輩方の姿に憧れ、当院での研修を選びました。見学の時見た研修医たち。搬送されてきた患者への「ファーストタッチ」を自ら行い、アセスメントを指導医へ的確に伝える――。その鮮やかな姿は、今でもはっきりと目に焼き付いています。入職後、実際に指導医の先生方から手厚いフィードバックを受ける中で、ここには常に成長し続けられる環境があると確信しました。熱心に導いてくださる指導医の先生方だけでなく、全国から集う、同じ志を持つ同期と切磋琢磨できる環境があります。この病院を選んで本当に良かったと実感しています。あの時憧れた先輩に一步でも近づけるよう、私自身も日々精進の毎日です。熱意ある皆さんと一緒に働ける日を、心よりお待ちしております。

研修医
の
1日

救急科ローテーション時は、2交代のシフト勤務。毎回のシフトの後には、指導医とのデブリーフィングが設けられ、学びを深めます。12時間の勤務後は24時間以上の十分な休息があります。



8:00 朝礼・ 申し送り	8:30 救急車 対応	13:00 昼食	15:00 walk-in 対応	18:00 救急車 対応	20:00 デブリーフィング・ 帰宅
---------------------	-------------------	-------------	------------------------	--------------------	--------------------------

Voice
02



休日の過ごし方

休日は、院内食堂のオードブルを囲んでピクニックを企画するなど、仲間との対話を通してリフレッシュしています。
また、一人の時間はボルダリングやボクシングに挑戦。充実した休日を過ごしています。



Program

初期研修プログラム

目の前の患者から 逃げない医師になる!

当院の研修では、研修医は最前線で診療にあたります。
common diseaseはもちろん救急患者のファーストタッチから入院診療まで、初期研修2年間を通して多くの症例を経験することができます。
また、当院では屋根瓦方式の指導体制をとっており、24時間365日研修医は安心して指導医のもと研修にあたることができます。1年次では、2年次研修医のアシスタントとして診療に加わり、2年次では、1年次を指導しながら主治医として診療にあたります。

〈ER重点〉初期臨床研修プログラム

1年次

オリエン(2週)	麻酔科(8週)	救急科(8週)	外科(8週)	産婦人科(8週)	小児科(8週)	内科(8週)
----------	---------	---------	--------	----------	---------	--------

2年次

内科系(16週)	救急科(8週)	精神科(4週)	地域(4週)	選択科研修(20週)
----------	---------	---------	--------	------------

〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム

1年次

オリエン(2週)	麻酔科(8週)	救急科(8週)	外科(8週)	産婦人科(8週)	小児科(8週)	内科(8週)
----------	---------	---------	--------	----------	---------	--------

2年次

内科系(16週)	救急科(4週)	精神科(4週)	地域(12週)	選択科研修(16週)
----------	---------	---------	---------	------------

当院の魅力

1「ER研修」

初期研修医の教育は、救命救急センターを中心に行われます。将来何科に進むにしても医師として最低限の救急対応ができるようになるためには、診断のついていないwalk-in患者の中から、重症患者を見逃さない訓練。そして、早急な医療介入が必要な救急車の患者に対して適切なファーストタッチを行う訓練。この両方をバランスよく行うことが大切だと考えています。日本でもトップクラスの救急患者数を誇る当院の環境は、まさにうってつけです。どの科をローテーションしているときも、2年間を通して救急車対応や救急外来診療を月3〜4回程度経験できます。

研修医が最前線で
対応します!



2「実りある研修会」

当院の指導法は、積極的に治療・手技を経験させる実践主義です。もちろん指導医のサポートと事前のシミュレーションは欠かせません。当院では、研修医が安心して研修できるよう研修会にも力を入れています。各診療科の専門医が企画する研修会も豊富で、研修医は十分なレクチャーを経て実践に臨むことができます。

こんな研修会をやっています

- ・CV穿刺トレーニング
- ・外傷外科医による外傷蘇生セミナー
- ・縫合セミナー
- ・KUMAMOTO GIM
- ・救急医によるERセミナー
- ・シーネ固定研修会
- ・各科医師による朝の講義(1回/週)
- ・2年次研修医による研修医講義(1回/週)
- ・各種勉強会(論文の書き方など)

医療人として
だけでなく、
一人の社会人として

医師だけに留まらず、病院全体で、社会に出たばかりの研修医を育てます。新人研修では、他の職種と合同で接遇セミナーなどもおこないます。



Generalist

研修医全員に
学会発表のチャンスがあります



教えることは学ぶこと

十分な バックアップ体制

当院の研修では初期研修医の皆さんに救急の最前線に立ててもらいますが、決してひとりにさせることはありません。



Point

科の垣根を越えた最善の医療を

毎朝8:30に全医師が医局に集合し、前日の救急患者報告に耳を傾けます。見学された方からは「科の垣根を越えて最善の医療をしようとする意気込みが感じられる」との感想も寄せられています。

学閥は
ありません!



毎朝、医局で全診療科の医師が集まり前日の救急の申し送りをを行います。

熊本赤十字病院臨床研修理念

〈基本理念〉

目の前の患者から逃げない医師を育成する

Specialistである前にGeneralistであることが重要だと考え、将来進む診療科に限らず、総合的に患者を診る力を養います。

〈基本方針〉

私たちが育成するのは次のような医師です。

対応できる医師

救急医療と総合診療を中心に、当院独自の必須診療科をローテーションし、総合的に患者を診る力を養います。

信頼される医師

患者や家族の社会的背景に配慮し、寄り添うことのできる人格と、生涯を通じて自らを高める姿勢を養います。

協力できる医師

研修医を、病院全体、社会全体で育て、全ての人々と連携し、地域に貢献できる力を養います。

専門研修プログラム（新専門医制度）

新専門医制度においては、「内科」「救急科」「外科」「総合診療科」「産婦人科」「麻酔科」の6領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備しています。

主導権を持って
治療に当たることができる

内科専門研修プログラム 定員6名

ローテーション例

1年次

総合内科（熊本赤十字病院）

2年次

救急科・ICU

内科系
（熊本赤十字病院）※

内科系（連携施設）

3年次

地域医療（連携施設）

内科系（熊本赤十字病院）※

※内科系選択は総合内科の他、消化器内科・脳神経内科・循環器内科・呼吸器内科・リウマチ膠原病内科・血液腫瘍内科・腎臓内科・感染症内科などから選択し履修可能

当院の内科系診療の多くを担う総合内科での研修を中心に、内科系ジェネラリストを目指す研修プログラムです。総合内科では、特に複数の領域に関わる病態など90床の病床をチーム制で診ています。総合的な内科診療技能の養成を重視し、内科全分野にわたる幅広い診療経験を積むことが可能です。



サブスペシャリティ並行研修

2年次以降は、内科専門研修と並行してサブスペシャリティ専門医の取得に向けた研修を行う事が可能です。
また、救急科や集中治療科など、院内の他領域をローテーションすることもできます。



救急科専門研修プログラム 定員5名

ローテーション例（ER医養成コース）

1年次

救急科（熊本赤十字病院）※

院内選択科

2年次

救急科（熊本赤十字病院）※

救急科
（連携施設）

3年次

救急科（熊本赤十字病院）※

地域医療
（地域連携施設）

※当院研修時には、ERを中心に、集中治療やプレホスピタル、外傷外科などローテーションして経験を積みます。

ERを中心に、外傷外科、集中治療、プレホスピタル、災害医療、小児救急など救急科専門医に必要な幅広い経験をします。1年次は院内選択科、2年次は連携施設、3年次は地域連携施設をローテーションすることが可能です。全国の個性的な救命救急センターと連携を組んでおり、専攻医の希望に合わせて研修することができます。

Walk-In患者から
ドクヘリの
重症患者まで経験!



フェローシップ制度

専門研修終了後もフェローとして、さらに研修を積むことも可能です。救急科以外の専門医資格取得や、フライトドクターを目指すこともできます。

外科専門研修プログラム 定員2名

ローテーション例

1年次

一般外科（熊本赤十字病院）

一般外科中心

2年次

外科系（熊本赤十字病院）

外科系
（連携施設）※

外科系
（連携施設）※

3年次

外科系
（連携施設）※

外科系
（連携施設）※

外科系（熊本赤十字病院）

サブスペシャリティ
・消化器外科
・呼吸器外科
・心血管外科
・小児外科
・外傷外科 等

※3ヶ月を1コマとし、6～12ヶ月間、連携施設での修練を行う
連携施設やサブスペシャリティの研修時期や期間は研修到達状況と本人の希望をもとに研修委員で決定する。

専門医要件を満たす十分な症例

年間約2,300症例の手術を行っており、要件を満たす十分な症例を短期間で経験できます。また、診療科の垣根が低く、3年間のうちに救急科、麻酔科、消化器科、内科、泌尿器科などの研修も可能となっており、専門医の意見も取り入れながら、自由度の高い研修計画を作ることができます。



基本領域に
おける
プログラム
連携状況

	内科	小児科	皮膚科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	救急科	形成外科	リハビリ科	総合診療科
基幹施設	●			●		●						●		●			●
連携施設	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

総合診療研修プログラム 定員2名

ローテーション例

1年次

総合内科（熊本赤十字病院）

2年次

内科系（熊本赤十字病院）

3年次

地域医療（連携施設）

救急科
（熊本赤十字病院）

小児科
（熊本赤十字病院）

総合内科、小児科、救急科などをローテーションし、総合診療医に必要とされる基本的臨床能力を修得します。総合診療研修では、熊本県内の地域の病院と連携し、6ヶ月から1年間の地域医療研修を経験します。

家庭医療専門医の育成

日本プライマリ・ケア連合学会認定の家庭医療専門医の資格を並行して取得することができます。



産婦人科専門研修プログラム 定員3名

ローテーション例

1年次

産婦人科（熊本赤十字病院）

2年次

産婦人科（連携施設）※

3年次

産婦人科（連携施設）※

産婦人科（熊本赤十字病院）

※3ヶ月を1コマとし、1年～1年半連携施設をローテーションする。
（1年半の間に3ヶ月以上の地域医療の経験を積む）

専門医に必要とされる
幅広い経験を積む

手術においては日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医があり、積極的に腹腔鏡手術を実施しています。地域周産期母子医療センターにも指定されており、ハイリスク妊娠をはじめ、母体搬送も受け入れています。



麻酔科専門研修プログラム 定員3名

ローテーション例

1年次

麻酔科（熊本赤十字病院）

2年次

麻酔科（熊本赤十字病院）※

麻酔科（熊本大学病院）

3年次

麻酔科（熊本赤十字病院）※

地域医療（熊本労災病院）

4年次

麻酔科（熊本赤十字病院）※

※基幹施設である熊本赤十字病院以外にも、連携施設群から研修先を選ぶことも可能です。

集中治療・救急症例

救命救急センターを有する当院では、年間1000例程度の、緊急手術もあり、緊急手術麻酔の経験も積むことができます。
また、集中治療科専門医の指導の下、集中治療を学ぶことも可能です。

